

2022 年 8 月 5 日

協議会委員各位

沖縄県がん診療連携協議会幹事長
増田昌人

今年度の協議会の重点とする活動方針について（案）

協議会委員および専門部会構成員から意見のあったものを*印をつけて列挙した。

青字は第3次沖縄県がん対策推進計画(2018-2023)目次である。議論の一助になればと、事務局で追加した。

1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

(1) がんの予防

なし

(2) がんの早期発見、がん検診

*膵臓がんの早期発見の組織づくりを行い、早期発見ができるようにする

2 患者本位のがん医療の実現

(1) がん医療と人材育成

*NDB-SCR データのうち、要モニタリング項目の決定を行う

*NDB-SCR データ値が低い項目がないか確認し、あれば改善策を考えて、実行する。

*がん告知時の看護師立ち合いが不十分な状況が解消されているかを確認し、改善ができていなければ改善策を考えて、実行する。

*患者体験調査「十分な情報をもって治療を始められた患者」の割合が低いので、改善策を考えて、実行する。

*患者体験調査「担当者からセカンドオピニオンについて話があった患者」の割合が低いので、改善策を考えて、実行する。

(2) 医療提供体制

*各拠点病院等の診療状況等を解析する

*グループ指定されている病院間の医療連携の評価分析を行う

(3) 在宅医療

なし

(4) 緩和ケア

- *疼痛の特別な対応、例えば神経ブロックができる病院の情報提供をする、さらに医療機関の連携によりどの病院でもそれらの緩和ケアが受けられるようにする。
- *患者体験調査「がんやがん治療に伴い気持ちがつらくないと感じる患者」の割合が低いので、改善策を考えて、実行する。
- *外来での「がん患者指導管理料（医師・看護師が心理的不安軽減のために面接）」の割合が低いので、改善策を考えて、実行する。
- *痛みのモニタリング施策の評価と加速化に関する改善策を考えて、実行する。

(5) ライフステージに応じたがん対策

なし

(6) それぞれのがんの特性に応じた対策

- *難治がん・希少がんの受療行動などの評価分析を行う。

<大腸がん死激減プロジェクト>

- *プロジェクトの進捗状況の分析と評価を行い、改善策を考えて、実行する。
- *地域別、特に宜野湾市、西原町、名護市について、さらに重点的に取り組むような改善策を考えて、実行する。

(7) 離島及びへき地対策

なし

3 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

(1) 相談支援と情報提供

- *がんの家族外来を開設する。
- *がんの遺族外来を開設する。
- *患者体験調査「治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者」の割合が低いので、改善策を考えて、実行する。

(2) がん患者等の就労を含めた社会的な問題（サバイバーシップ支援）

なし

(3) がんの教育・普及啓発

なし

第3章 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

1 がん登録

2 計画の進捗管理体制

*各医療圏のがんの罹患・死亡等を解析する。

*がん種ごとの分析結果に基づいて、もしも死亡率や5年生存率等の悪いがんがあれば、大腸がんプロジェクトのように臓器別のプロジェクトを立ち上げて対応する

*地域ごとの分析結果に基づいて、もしも死亡率や5年生存率等の悪いがんがあれば、地域の課題別のプロジェクトを立ち上げて対応する